



じどう
思童ぎゃくたいって知ってる？

大人からいじめを受けて、
困っていませんか？
少しでもつらいと感じたら...

千葉市オレンジリボンキャンペーン 2009
オレンジリボンは、児童虐待(じどうぎゃくたい)防止のシンボルマークです。

「これってぎゃく待なのかな？」と思ったら
じ童相談所に相談していいんだよ。

043-277-8880

あさ9時～夕方4時30分(月～金)

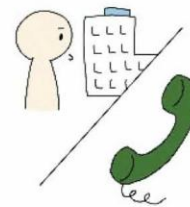
だれのための相談所？



子ども本人(18才まで)ならだれでも)や、
その家族、身近な友だちのことでいいよ。
千葉市役所の子ども相談の専門チームとして、保健福
祉センターや地域の児童委員さん、学校、施設などか
ら相談を受けたり連絡を取り合う中心になります。

相談出来る内ようは？

心や体のなやみなど、どんなことでも相談
出来ます。
家族からの子どもについての相談も出来ます。



相談したいときは？

電話をつかっての電話相談のほか、
じ童相談所にじかに行くこともできます。
(来所相談、と言います)
市役所の子ども相談の専門チームとして、ヒミツを
守り、周りのみんなが仲良くなれる方法を、一緒に
考えてくれます。

子どものためだけの電話相談

チャイルドライン

0120-99-7777

夕方4時～夜9時(月～土)

友だちとケンカしちゃった...
クラスでイジメがおきてる...
部活の人間かん係でなやんでる...

どんなことでもいいよ！
18才までならだれでもOK
みんな電話してね！



大人のひとにも知ってほしいこと

ほくたち子どもは、けんこうで楽しく毎日すごして、立ばな大人になりたいのです。だから、身近な大人の人たちがおかしなこと、ズルいこと、いたいことをしてきたり、気持ちをつみにじられるのはイヤだし苦しい。

つらい気持ちを持つきみへ

そんな苦しさはガマンすることなんてない。
だから、少しでもつらいと感じたら、気軽に相談しよう。

じどうぎゃく待ってどんなこと？

相手が子どもだからといって、気持ちや言い分を聞いた
りせず、大人が身勝手に、ほう力をきこせすること。

たとえば、
からだへのぎゃく待、ほう力
理由も聞かないで一方できこせられる
冬の寒い日に家の外にしめ出される

心やおどしのぎゃく待

こあい思いをさせられる
むしされる

親としての役目を負わない

ごはんを食べさせてもらえない
学校に行かせてもらえない

せいにかんするぎゃく待

いやだっていうのに、おしりや体をさあられる
はだかの写真をとられる、見せられる

このリーフレットは千葉の子ども
たちの手によって作られました。
イラスト ひなた、のっち
題字 あや

千葉市ほけん福祉局子ども家庭部
子ども家庭福祉か
電話：245-5179

文と構成：千葉市オレンジリボンWS参加の子どもたち、構成支援：みえけんぞう